

# 雨の降り方の程度

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。雨が降り出したら、どの程度の雨なのかを観察してみるのもよいでしょう。

予報用語 1時間雨量 (mm)	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内(木造住宅の場合)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

## 注意報・警報などについて

気象台より発表される様々な情報に注意しましょう。

大雨と洪水の注意報・警報は、「雨によって災害が発生する危険度の高まり」を基に発表されます。危険度には「3つの指数(土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数)」が用いられています。

注意報・警報は、市町村単位で発表され、今後24時間以内に注意報・警報が発表される可能性(3時間単位)や、5日先までに警報級の現象が発生する可能性も発表しています。

天気の変移をテレビや気象庁ホームページでこまめに確認し、避難の検討・準備を行ってください。

△△市	今後の推移 (■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象
	4日		5日		6日		7日		8日		
発表中の警報・注意報等の種別	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
1時間最大雨量(注1)	10	10	30	30	70	70	50	30			
大雨(注2)											浸水注意
土砂災害(注3)											土砂災害注意
洪水(注4)											氾濫

※気象庁リーフレット「気象警報・注意報をより見やすく！より分かりやすく！」より一部転載

種類	発表の時期	
大雨	注意報	大雨によって、土砂災害や浸水害が起こるおそれがある場合。
	警報	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。
	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。
洪水	注意報	大雨や増水によって、洪水害が起こるおそれがある場合。
	警報	大雨や増水・はん濫によって、重大な洪水害が起こるおそれがある場合。
強風	注意報	強風によって、災害が起こるおそれがある場合。平均風速11m/s
暴風	警報	暴風によって、重大な災害が起こるおそれがある場合。平均風速20m/s
	特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合。
記録的短時間大雨情報	1時間雨量が100mmを記録した場合。	